

岩沼市国民健康保険 データヘルス計画



平成 25 年 6 月 14 日「日本再興戦略」が閣議決定され、医療保険者はレセプト等のデータの分析や分析結果に基づき加入者の健康保持増進のための事業計画として「データヘルス計画」を作成・公表、事業実施、評価等の取組をする必要があるとの方針が示されました。

岩沼市では、特定健康診査の検査データやレセプトデータを活用することで、岩沼市国民健康保険被保険者の疾病・治療の状況を把握・分析し、特性に合わせ、効果的かつ効率的な保健事業の展開を進め、医療費の適正化、糖尿病等の生活習慣病の発症予防と重症化予防を図ることを目的として、「データヘルス計画」を策定しました。

岩沼市の現状と分析

1 国民健康保険医療費

現状 1 入院外医療費

- ① 年々増加傾向である。
- ② 生活習慣病の医療費が4割を占めている。
- ③ 高血圧治療費が1位である。
- ④ 1件あたりの医療費は糖尿病が高い。
- ⑤ ジェネリック医薬品の利用割合は全国や宮城県よりも高い。

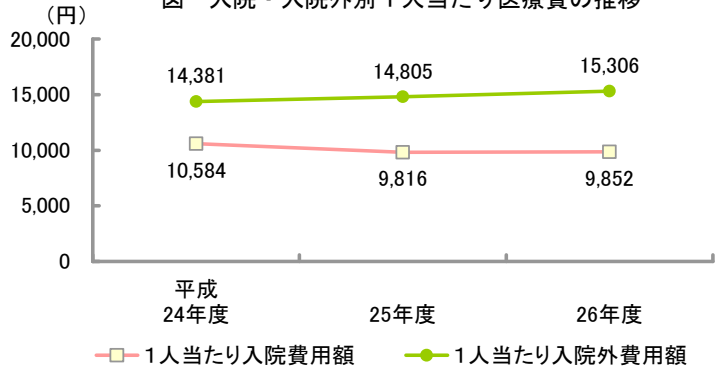
現状 2 入院医療費

- ① 生活習慣病の医療費は3割を占めている。
- ② 1件あたりの医療費は上位から心筋梗塞、動脈硬化、脳出血、脳梗塞となっている。

分析

医療費の適正化に向けては、生活習慣病の予防や重症化予防が必要です。特に、高血圧と糖尿病が医療費を押し上げていると考えられます。また、これらは、生活の質に影響する疾病にもつながりやすい疾病です。

図 入院・入院外別1人当たり医療費の推移



資料：国保データベースシステム

現状 3 生活習慣病治療者

- ① 重症化疾患である虚血性心疾患や脳血管疾患治療者の多くは、高血圧を重複している。
- ② 人工透析患者の半数は糖尿病を重複している。

2 特定健診データ

現状 1 特定健康診査の受診状況

- ① 平成24年度から受診率が5割を切っている。
- ② 女性より男性の受診率が低い。
- ③ 継続受診者は約4割にとどまっている。

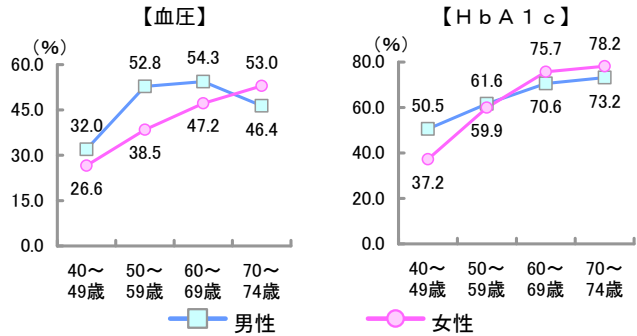
現状 2 特定健診の結果の状況

- ① 血圧の有所見者は半数おり、年代とともに有所見率も上昇している。
- ② 血糖(HbA1c)の有所見率は7割であり、年々上昇している。年代とともに有所見率も上昇するが、男性においては40歳代から有所見率が4割と高い。

現状 3 医療費と医療受診状況

- ① 特定健診受診者は未受診者より、いずれの年代でも1人あたりの医療費が低い。
- ② 血圧が受診勧奨値である受診者のうち4割は未受診のままである。
- ③ 血糖(HbA1c)が受診勧奨値である受診者のうち約2割は未受診のままである。

図 男女年代別有所見率の状況 (平成26年度)



資料：岩沼市 特定健康診査データ

分析

受診率の向上は医療費の適正化の観点からも重要です。また、非継続的な受診行動をとっている人に、継続した受診行動をとる必要性を認識してもらうことが必要です。血圧や血糖値は有所見率が高く、かつ受診勧奨値を越えても受診行動に結びついていない状況です。高血圧や高血糖が生活習慣病の重症化疾患につながりやすいことから、正しい知識の普及が必要です。ハイリスク者には、生活習慣の改善とともに、受診勧奨を行うことが必要です。

3 特定保健指導データ

現状 1 特定保健指導の利用状況

- ① 動機付け支援の利用率は2割で、かつ近年低下傾向である。また積極的支援の利用率は1割にとどまっている。
- ② 健診結果の配布と同時に特定保健指導を実施すると利用率が大幅に上昇する。

現状 2 特定保健指導の利用者の状況

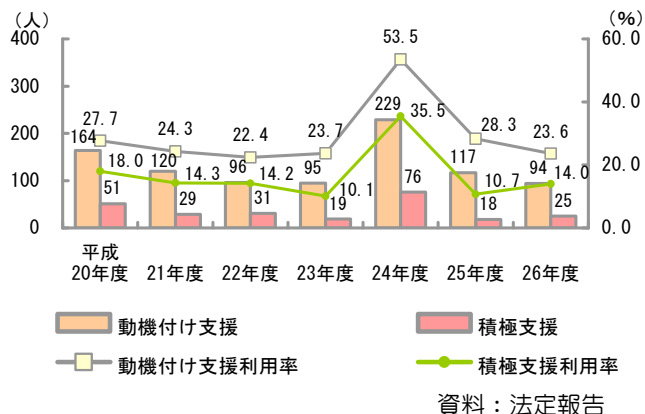
- 未利用者より健診結果が改善している(翌年度に特定保健指導非該当になる者が多い)。

分析

特定保健指導を利用することは、生活習慣病予防改善につながるため、利用率をあげることが重要です。

利用率向上につながった過去の取組を参考にしながら、さらに対象者がより参加しやすい方法も加味し実施していくことが必要です。

図 特定保健指導対象者の状況の推移



4 その他

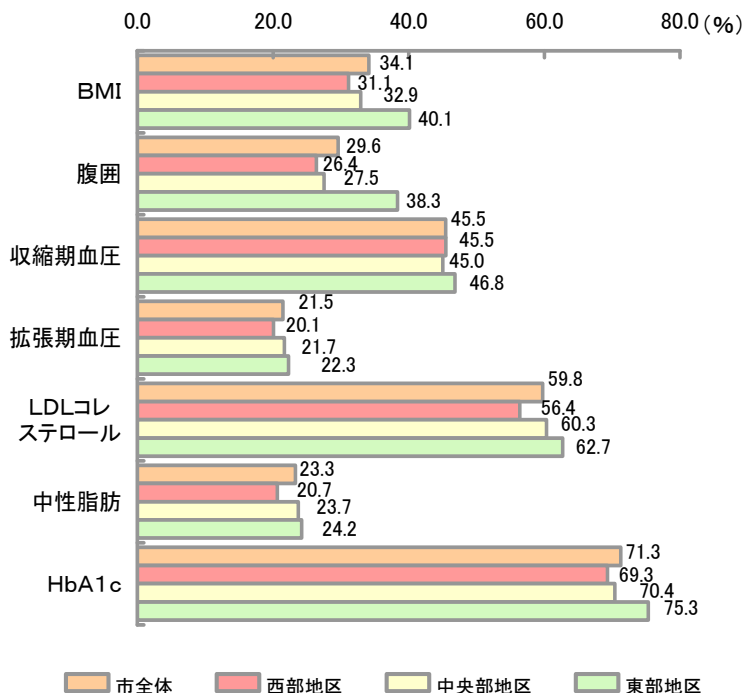
現状 地区毎の健康課題

- 医療費や特定健診受診率や有所見率等には、地区で差がみられる。

分析

地区毎の年齢構成や社会資源、風土等を加味しながら、各地区の健康課題を分析し、地区組織活動等につなげていくことが必要です。

図 地区別主要健診項目の有所見率の状況



健康課題と具体策

1 特定健診の受診率の向上

具体策

目的：特定健診受診率向上による、生活習慣予防改善と医療費適正化

内容：① 未受診者の年代・健診の受診歴による、多角的な分析
② 分析から得られた傾向に応じた、効果的な勧奨方法による未健者健診の受診案内

目標値

① 特定健診受診率

現状値 (H26年度)	目標値 (H29年度)
48.6%	60%

② 未受診者対策検討会の実施

現状値 (H27年度)	目標値 (H29年度)
1回	3回

2 特定保健指導の利用率の向上

具体策

目的：特定保健指導の利用率向上による、生活習慣病の予防改善

内容：地区毎(3地区)の健診結果配布と特定保健指導の初回指導の同時開催



① 特定保健指導利用率

現状値 (H26年度)	目標値 (H29年度)
20.6%	60%

② メタボリックシンドローム該当者・予備群の割合

現状値 (H26年度)	目標値 (H29年度)
30.2%	25%

③ 特定保健指導利用者のうち、次年度に非該当となった者の割合

現状値 (H25年度)	目標値 (H29年度)
21.8%	23%

3 高血圧症対策

具体策1 啓発普及活動(ポピュレーションアプローチ)

目的：血圧の正しい知識普及による健康管理への意識の高揚

内容：① ホームページや広報、献血事業等での知識の周知
② 市役所内の血圧計の設置、関係機関への設置協力依頼
③ 働き盛り世代や男性への効果的なアプローチ方法検討

具体策2 ハイリスク者への支援

目的：生活習慣病の重症化予防

内容：受診勧奨値だった医療未受診者に対する個別指導

① 血圧の有所見率

現状値 (H26年度)	目標値 (H29年度)
男性 49.9%	男性 47%
女性 47.0%	女性 45%

② 血圧計の設置数

現状値 (H27年度)	目標値 (H29年度)
3台	4台

4 糖尿病対策

具体策1 啓発普及活動(ポピュレーションアプローチ)

目的：効果的な血糖値の啓発普及活動の検討

内容：① 血糖有所見者の状況についての多角的な分析
② 平成29年度より実施する事業内容の具体化

具体策2 ハイリスク者への支援

目的：糖尿病の重症化予防

内容：受診勧奨値だった医療未受診者に対する個別指導

○ 血糖値の有所見率

現状値 (H26年度)	目標値 (H29年度)
男性 73.0%	男性 71%
女性 69.2%	女性 67%

岩沼市データヘルス計画 概要版
平成28年3月

発行：岩沼市健康福祉部健康増進課
〒989-2480
岩沼市桜一丁目6番20号
Tel 0223-22-1111